

連続セミナー 第5回  
つながるトーク 移民を知ろう、移民と語ろう  
— 移住女性のエンパワメント —

日本で暮らす外国人 206万6445人（2013年末）のうち、54.3%を占める112万3008人が女性です。

そのなかでも国際結婚により日本で長く暮らすようになった女性は多数を占めます。2000年以降の国際結婚数は毎年3万件～4万件で、日本における結婚総数の5%前後です。一方で国際離婚数も国際結婚を上回る勢いで増えています。

その他、単身でやってきたり、出身国の夫や子どもと来日したり、家族を出身国に残してやってきたりした女性もいます。また、介護現場、工場、専業主婦など、様々な形で地域で働き、生活しており、NGOや行政で、相談者として移住女性を支援する移住女性もいます。

ところが、移住女性が地域社会や家族のなかで孤立し、本来の力を発揮できず暴力や差別に晒されやすい背景にあることも事実です。こうした移住女性の多くは日本社会の中で、移住者であること、女性であることなどによる幾重もの差別と偏見を経験しています。また、人身売買や、家庭、職場における様々な形態の暴力による深刻な被害に苦しむ女性たちも少なくありません。（「カラカサン」ホームページより）

また、2011年3月の東日本大震災後にNGOが行った調査からも、被災地に居住している外国人の多数が国際結婚女性であり、移住女性が孤立して支援からもとりこぼされている現実が報告されました。

移住女性をめぐる、制度や社会における課題はいま何でしょうか。日本に暮らす移住女性と子どもたちのエンパワメントをめざして、「カラカサン」で活動する（自身も移住女性である）西本ドナさんから、ご自身のこと、現在の活動のことをお話いただきます。ドナさんとの対話を通して、参加者と一緒に考えましょう。

日 時	2014年3月14日（土）18：30～
会 場	韓国YMCA 3F
資料代	1,000円（大学院生以下500円）
ゲスト	西本ドナ さん （カラカサンー移住女性のためのエンパワメントセンター）

学習会終了後、講師を囲んで会場で懇親会もあります。

◆ 会場 ◆ 在日本韓国 YMCA 3階教室  
 (東京都千代田区猿楽町 2-5-5、03-3233-0611)



JR「水道橋」駅東口より徒歩6分、地下鉄「神保町」駅より徒歩7分